

六つの華だより

糸魚川市立磯部小学校
平成 25 年 11 月 10 日(日)No.11
E-mail isobesho@itoigawa.ne.jp
URL <http://www.itoigawa.ed.jp/isobesho/>



自分の言葉で伝えよう みんな笑顔になろう 元気な体をつくろう

読書の大切さ

校長 高橋雅史

テレビ番組，マンガ本，ゲーム，カード類，携帯電話やスマホ…。現代の子どもたちは，たくさんの楽しいこと，たくさんの興味を引く物に囲まれて暮らしています。

スピード感，臨場感，ビジュアル性，スリル，暴力的な言葉と行動，子どもたちの脳を直接的に刺激してくるそれらに比べ，読書はすぐに飛びついて夢中になるようなものではないのかもしれませんが。

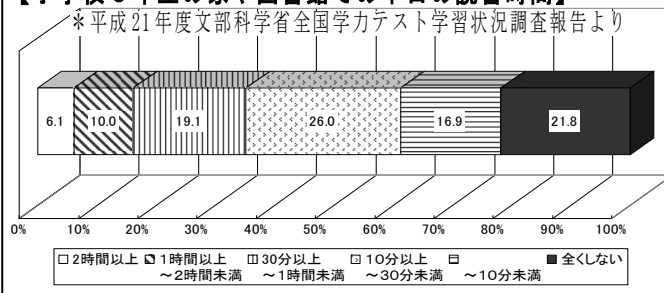
そして，テレビの時間，ゲームの時間が読書の時間を奪ってしまっていることはないのか，少し心配になります。

最近の子どもたちの読書の顕著な傾向としては次のようなことが言われています。

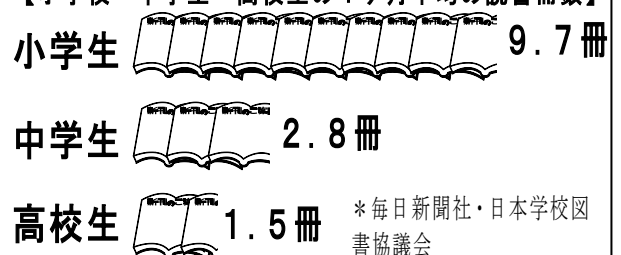
- ・読書指導の重視などから学校での読書量，読書冊数は増えている。しかしその反面，家庭での読書時間，読書量はむしろ少なくなってきた。
- ・ファンタジーもの，学園もの，テレビ等のCMで話題になった本が好まれる傾向が強い。
- ・本を読む子とまったく読まない子がはっきりし，2極化の傾向がみられる。また，中学・高校と進むにつれ，読書をしない傾向は非常に強くなる。



【小学校6年生の家や図書館での平日の読書時間】



【小学校・中学生・高校生の1ヶ月平均の読書冊数】



文部科学省のパンフレット「子どもの読書活動について」では，読書の意義について，次のようにまとめています。

言葉を学び 感性を磨き 表現力を高め 創造力を豊かにする

正しい日本語・正しい言葉づかいを学ぶ，さまざまなきごと感動し心をゆり動かす感性を磨く，言葉や文章できちんと相手に伝えることのできる表現力を高める，創造的に考える力を豊かにする，これらは読書によって育まれる力です。

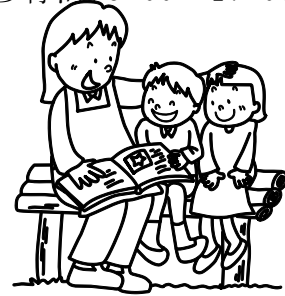
学校では11月に読書旬間を設け，子どもたちが真剣に本に向き合う時間を設定しています。この機会にご家庭でもぜひ子どもたちに読書をさせていただければと思います。

1 1月の主な行事予定

- 10(日)磯部小学校新校舎竣工式・祝賀会
- 11(月)振り替え休業日
- 13(水)糸魚川市教育研究会一斉研修日(3限給食後に下校)
校内読書旬間(~29日)

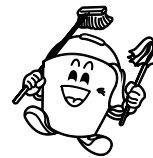


- 14(木)サケの採卵受精体験(4・5年生)
- 15(金)クラブ活動, 教師による本の読み聞かせ, 5年生親子PTA
- 16(土)~18(月)糸魚川市児童生徒図工美術作品展(きらら青海)9:00~17:00
- 19(火)放射線に関する学習会
- 20(水)児童朝会
- 21(木)就学時健康診断(1・2年生は給食後下校)
- 22(金)教師による本の読み聞かせ, 2年生親子活動
- 27(水)発表朝会
- 28(木)PTA三役会・PTA委員会
- 29(金)委員会活動



1 2月の主な行事予定

- 2(月)全校言葉のカテスト
- 3(火)個別懇談会1日目(藤崎・百川・大洞)
- 4(水)全校朝会, 個別懇談会2日目(筒石・仙納・徳合)
- 5(木)能生中学校区いじめ見逃し0(ゼロ)スクール集会, 小学校交流会
- 6(金)クラブ活動, 磯部小学校人権週間(~12日)
- 9(月)全校算数テスト
- 11(水)発表朝会
- 12(木)子ども貯金日, 児童集会
- 13(金)委員会活動
- 17(火)地区児童会
- 19(木)3限給食後下校
- 24(火)第2学期終業式



平成25年度の冬休みは, 12月25日(水)から1月7日(火)です。この間, 12月28日(土)から1月5日(日)は学校無人化となります。

10月の磯部小学校



児童会主催のいじめ見逃し0(ゼロ)スクール集会を行いました。

能生地域小・中音楽発表会に三・四年生が参加し、素晴らしい演奏を披露してくれました。



六年生は、三〇日・三十一日と東京へ修学旅行に行ってきました。たくさん経験をして一回り成長して帰ってきました。



校長室から

体験・経験が 人を成長させる

机の上で勉強してたくさんの知識を獲得したり、いろいろなことができるようになったりすることはとても大切なことです。しかし、それ以上に様々な体験や経験は人間としての成長に欠かせないことです。

6年生は東京への修学旅行に出かけ、いろいろな物を自分の目で見、耳で聞き、本物にふれてきました。また、能生中学校の3年生8人は、学校へボランティア活動に訪れ、側溝掃除などに一生懸命汗を流してくれました。

体験・経験の質は違うかもしれませんが、どちらの体験・経験も、それを通して子どもたちが確実に変化していく姿を見ることが出来ました。五感を働かせ、汗を流し、人や物とふれ合うことで人間は成長していくことをあらためて感じさせられました。



文化祭を終えて

文化祭の作文
や日記をご紹介します。



「楽しかった文化祭」

五年 内山 穂乃

私が文化祭で楽しかったことが二つあります。

一つ目は、音楽発表会です。金管では、間ちがえないか不安だったけど、間ちがえなかったのがよかったです。五・六年生の発表も楽しくできてよかったです。

二つ目は、チャレンジ体験広場です。初めて絵手紙をやりました。かき、さつまいも、ミニかぼちゃを描きました。とても楽しかったので、また来年もしたいです。とても思い出にのこる文化祭になったと思いました。

「ぶんかさい」

一年 いいよし ひめ

十九にちに、ぶんかさいがありました。

はじめに、おんがくはっぴようかいがありました。わたしは、はあもにかをじようずにできました。うたでまちがえました。でも、じようずにできたとおもいました。

つぎに、さくひんかんしようかいをしました。五ねんせいのパズルがすごかったです。とくに、りりさんのぼずるが、とてもじようずにできているとおもいました。

ごごからは、たいけんかつどうがありました。えてがみをやりました。じをかくことが、とてもたいへんでした。でも、じぶんでもじようずにできたとおもいました。

【二年生の絵日記から】

保坂 りゆうが

ぼくは音がくはっぴよう会でがんばったところは、小だいいことあわせるところが、少しむずかしかったです。

でも、じようずにできてよかったです。

ぼくは、体けん広ばで、魚料理を作りました。メギスを使ってつみれ汁など三つの料理をつくりました。ぼくが一番たのしかったのは、メギスを手でまわす道具に入れてすり身にしたところです。

手がいたくてつかれたけど、おいしい料理ができてうれしかったです。

【二年生の絵日記から】

おおくぼ はな

わたしは、文化さいでがんばったことが二つあります。

一つめは、「きらきら星」をがっそうすることです。れんしゆうでは、はやくなりすぎて、ずれてしまいました。

二つめは、「うちゆう人にあえたら」をがっしようすることです。れんしゆうでは、小さいこえでうたっていました。

でも文化さいほんばんでは、「きらきら星」をがっそうすることもうまくえんそうできたし、「うちゆう人にあえたら」をがっしようするのもしようするのうたえました。三年生になっても、じようずにはっぴようでできるといいと思います。